



甚大な被害をもたらした西日本豪雨。その爪痕は未だに生々しく残っており、被災者の方々やボランティアの方々、そして、自衛隊や警察の方々などにより復旧作業が猛暑の中で行われています。復興は長い道のりだと思いますが、新たな希望の灯火が関係の皆さんの心に灯ることをお祈りいたします。鹿児島県も平成5年の「8・6水害」で大きな被害を受けました。私は当時、鹿児島市内の原良小学校に勤務しており、住居は薬師でした。学校は、床上浸水の被害を受け、学校を取り囲んでいたブロック塀は、濁流に押し倒されました。校庭は、一時的にごみの収集場所となり、連日のようにトラックや重機が行き来していました。近隣の住宅は、大きな被害を受け、子どもたちの学習用具なども流されたりしました。私自身も、自家用車が座席部分まで水に浸かり、廃車になってしまいました。西日本豪雨の報道を見るたびに、あの夏の日のことを思い出します。

さて、76日間（5年生は宿泊学習の休養措置日のため75日間）の登校日があった一学期が終わりました。65人の1年生たちも、入学当初と比べるとずいぶん学校生活に慣れてきました。きょんとした表情でのあいさつも、最近では元気よくできるようになりました。他の学年の子どもたちも、それぞれ一学年ずつお兄さんお姉さんになり、学習や運動、ボランティア活動などに友だちと協力しながら頑張ってきました。また、一日遠足や日曜参観、水泳大会などの行事にも楽しそうに全力で参加していました。これまで交通事故や命に関わるようなけがや病気もなく、全員元気に一学期を終了できますことを喜ぶたいと思います。

夏休み中は、「早寝・早起き・朝ご飯」を守りながら、日頃できない貴重な体験や継続した学習などに挑戦してほしいと思っています。そのために、ゲームやスマホなどの時間を極力減らし、熱中症などに注意しながら体を動かす活動に時間を使ってほしいと思います。2学期の始業式には、一回り大きくなった姿を見せてくれることを楽しみにしておきたいと思っています。

地域の皆様方には、日頃から子どもたちを温かい心で見守ってくださり感謝申し上げます。また、学校の運営に関しまして、それぞれのお立場からご支援・ご協力をいただいていることに対しましても感謝しているところです。夏休み中も、引き続き地域での見守りや声かけにご協力くださいますようお願いいたします。何か気になることなどがありましたら、学校にご連絡くださるとありがたいです。よろしく申し上げます。

ビールびん 【3年生の作品】

ビールびんが三十二本ならんでいる

夏は三十二日前にきたんやな。

灰谷健次郎 編  
「続・続子どもの詩が生まれた」より

厳しい暑さが続きます。皆様方も健康に留意され、元気に夏をお過ごしください。

2学期もよろしく申し上げます。

宮川小学校長 松永幸二